



富士河口湖町教育センターだより



NO.2 平成17年12月発行



「学習体験プログラム」実施

「学習体験プログラム」を町内小学校との連携により実施しました。

最初のプログラムは小学校5年生の理科の授業として「川の学習」の体験を行いました。それぞれ日程を分けて船津小・小立小・勝山小の5年生が都留の鹿留川へ移動し、上流・中流の水の流れる速さや河原のでき方、川の災害への対策などを実際に見聞し、バケツ等で体験しながら学習しました。

川の冷たさ、流れの強さを目の当たりにした子ども達の感想は下記のとおりです。



次のプログラムは小学校3年生の図工の授業として「木工工作」を実施しました。大石小・西浜小・大嵐小の3年生の合同体験授業として行いました。

町内の「野鳥の森公園」内のクラフト室で木材・枝・花木の実などを材料に作品を作りました。初めて鋸や金鋸を使う子も多く、手つきは慣れないものの、作品の出来映えに満足している様子でした。

センター開設初年度の事業でしたが、「学習体験プログラム」に関しては、今回以外にも実施を検討しています。また来年度以降も引き続き実施して行きたいと考えています。



子どもの感想



5年生から

- ◆ 本当の川に行ったのが初めてだったから、流れの速さや水の冷たさにびっくりした。
- ◆ 上流の実験で川にひきずりこまれそうになって、川のこわさを改めて感じた。

3年生から

- ◆ 木を切ったり、くっつけたりするのが、おもしろかった。
- ◆ ほかの学校の人といっしょにできたからよかった。
- ◆ くぎをはじめてうってむずかしかったけど、たのしかったです。